

生薬学・天然物化学教科担当教員会議議事録

日時： 平成 26 年 9 月 12 日（金）午後 4 時～午後 5 時 30 分

開催場所： 福岡大学 第 17 号館 1711 教室

（福岡市城南区七隈8丁目19番1号）

出席者： 生薬学・天然物化学教科担当教員（全国薬学部，薬科大学教員）

- 議 題：（1）新コアカリキュラムの実施に伴う生薬学関連教育の改革動向について
（2）国家試験における漢方薬に関する出題について一現状と課題
（3）漢方教育の共通化について
（4）生薬・天然物部会報告

議題（1）： 新コアカリキュラムの実施に伴う生薬学関連教育の改革動向について

水上 元 生薬学会 副会長より以下のアンケート結果の説明があった。全体の傾向として、コアカリ改定に伴い生薬関連科目の減少している大学が多い。その理由として、「国家試験問題での出題数が少ない」こと，さらに「漢方関連科目が医療系の出題枠へと移行したために他の医療系，薬理系分野の教員へと授業担当が変更した」などがあげられた。

アンケート項目

- （1） コアカリの改定に伴って生薬学関連科目のカリキュラムを変更したか
- （2） カリキュラム変更の内容
- （3） 開講科目数，単位数，コマ数の変化
- （4） 改定にあたって留意・苦勞された点
- （5） 改定の問題点・今後の改善が望まれる点など，その他

議題（2）： 国家試験における漢方薬に関する出題について 現状と課題

牧野利明 教授（名古屋私立大学生薬学分野）より下記の説明があった。国家試験問題を例に出して，薬学部での漢方教育に関する提言があった。国内において流派等により古典重視の日本漢方と生薬に関する理論の存在する中医学とが混在する現在，統一した漢方教育を行うことに難しさがある。学生の理解のためには，日本漢方と中医学の良い点を抽出して行うのが良いのではないか。また，国家試験問題出題との関係でも，公的，科学的に認められたこと（エビデンス，疾患治療ガイドライン，日本薬局方，添付文書）が重要である。さらに，漢方関連科目が医療系の出題枠へと移行したために医療薬学教員との連携，協力が必要性である。

- （1） 正しい漢方薬，漢方医学とは
- （2） 漢方薬の教育方法
- （3） 第 99 回薬剤師国家試験（2014）から
- （4） 医療薬学教員との連携の必要性

<質疑応答>

- 1 (木内先生・慶應大) 国家試験の出題のことを考えると、添付文書に記載されている事項が重要なのか。
- 2 (牧野先生) 添付文書に記載されている事項と漢方医学の内容は、必ずしも一致していないが、押さえておく必要はある。
- 3 (小林先生・北里大) 六君子湯に関する問題で、グレリンが出題されたことに関しては、薬理部会でも議論になった。添付文書の内容は必要であると思う。中医学の要素を教える必要はあると思うが、どの程度の範囲が最低限なのか。
- 4 (牧野先生) 中医学も広範囲に及ぶので、一概には言えない。学生の理解のために、中医学と日本漢方の良い点を教えるのが良いのではないか。
- 5 (奥山先生・城西国際大) 陰虚証などを教える場合、日本漢方と中医学のどちらを中心に教えたらいいのか迷う場合がある。
- 6 (牧野先生) 学生が理解しやすい方で良いのではないか。私は、中医学を中心に授業を行っている。

議題(3): 漢方教育の共通化について

木内 生薬学会 会長より教科書作成の現状についての報告があった

- ・ 2008年に日本生薬学会監修という形で「現代医療における漢方薬」という本を監修しているが、この本を漢方薬学の講義で使える教科書に改訂するために、改訂作業中である。

<質疑応答>

- 1 (水上先生) WGメンバーの中に、薬理系の先生を入れたらどうか。
- 2 (木内先生) 慶應大学の中村先生をメンバーに加えて改訂作業中である。
- 3 (松田先生・京都薬大) 京都薬科大学では、エビデンス(グレリンの件)や西洋薬との併用的な使用法など、国家試験のことを念頭に、講義している。
- 4 (小林先生・阪大) 漢方教育は、モデルコアカリに100%準ずる必要があるのか? 他大学の状況が知りたい。
- 5 (橋本先生・徳島文理大) 漢方薬の薬効の説明は難しいので、国家試験は構成生薬の薬効の問題にすべきではないか。
- 6 (木内先生) 問題の出題形式によるのではないか。
- 7 (水上先生) SBOに「代表的な薬用植物の」あるいは「代表的なアルカロイドの」とあるが、この「代表的な」とは何を指すのかが不明確である。
- 8 (野口先生) 市場では、補中益気湯、六君子湯などが売れており、このような代表的な漢方薬の構成生薬が重要生薬と捉えてよいのではないか。

議題（４）：生薬・天然物部会報告

野口生薬天然物部会連絡委員より薬学分野の将来展望と大型研究計画についての報告があった。例として日本学術会議において「ケノム科学支援による薬用植物資源科学を基盤として高品質薬用植物の作出，栽培，維持，管理，供給システム」という研究課題が注目されたことが説明され，生薬を第二のレアアースにしないために，栽培研究などの大型プロジェクトを生薬学会が主導して企画して欲しいとの提案があった。

<質疑応答>

- 1 （斉藤先生・千葉大）JST, 文科省に対して，植物科学，Natural Bioresource の分野で常に応募することが，生薬学の教員として重要である。皆様のご意見，御協力をお願いしたい。

平成26年度 生薬学・天然物化学教科担当者会議

| 所属 | 氏名 | 教科担当者会議 | 意見交換会 |
|-----------------|--------|---------|-------|
| 北海道大学大学院薬学研究院 | 久保田 高明 | ○ | - |
| 北海道医療大学 | 高上馬 希重 | ○ | ○ |
| 北海道薬科大学 | 山下 浩 | ○ | ○ |
| 青森大学薬学部 | 上田 條二 | ○ | - |
| 岩手医科大学薬学部 | 林 宏明 | ○ | ○ |
| 東北薬科大学 | 佐々木 健郎 | ○ | ○ |
| 奥羽大学薬学部 | 伊藤 徳家 | ○ | ○ |
| いわき明星大学 | 山崎 勝弘 | ○ | ○ |
| 城西大学薬学部 | 白瀧 義明 | ○ | ○ |
| 日本薬科大学 | 雨谷 栄 | ○ | ○ |
| 日本薬科大学 | 新井 一郎 | ○ | ○ |
| 日本薬科大学 | 山路 誠一 | ○ | ○ |
| 千葉大学大学院薬学研究院 | 石橋 正己 | ○ | ○ |
| 千葉大学大学院薬学研究院 | 齊藤 和季 | ○ | ○ |
| 千葉大学大学院薬学研究院 | 山崎 真巳 | ○ | ○ |
| 東邦大学 | 李 巍 | ○ | ○ |
| 日本大学薬学部 | 北中 進 | ○ | - |
| 日本大学薬学部 | 松崎 桂一 | ○ | ○ |
| 城西国際大学薬学部 | 奥山 恵美 | ○ | ○ |
| 帝京平成大学薬学部 | 石井 竹夫 | ○ | - |
| 東京大学大学院薬学系研究科 | 阿部 郁朗 | ○ | ○ |
| 東京大学大学院薬学系研究科 | 折原 裕 | - | ○ |
| 北里大学薬学部 | 小林 義典 | ○ | ○ |
| 北里大学薬学部 | 福田 達男 | - | ○ |
| 慶應義塾大学薬学部 | 木内 文之 | ○ | ○ |
| 慶應義塾大学薬学部 | 羽田 紀康 | ○ | ○ |
| 昭和大学薬学部 | 高松 智 | ○ | ○ |
| 昭和大学薬学部 | 平井 康昭 | - | ○ |
| 星薬科大学 | 森田 博史 | ○ | ○ |
| 東京薬科大学薬学部 | 三巻 祥浩 | ○ | - |
| 明治薬科大学 | 岡田 嘉仁 | ○ | ○ |
| 明治薬科大学 | 小山 清隆 | ○ | ○ |
| 武蔵野大学薬学部 | 市瀬 浩志 | ○ | ○ |
| 昭和薬科大学 | 高野 昭人 | ○ | ○ |
| 昭和薬科大学 | 中根 孝久 | ○ | - |
| 帝京大学薬学部 | 忍足 鉄太 | ○ | ○ |
| 帝京大学薬学部 | 山岡 法子 | ○ | ○ |
| 横浜薬科大学 | 飯塚 徹 | ○ | ○ |
| 富山大学大学院医学薬学研究部 | 田浦 太志 | ○ | ○ |
| 富山大学和漢医薬学総合研究所 | 小松 かつ子 | ○ | ○ |
| 金沢大学医薬保健研究域薬学系 | 佐々木 陽平 | ○ | ○ |
| 北陸大学薬学部 | 木津 治久 | ○ | ○ |
| 北陸大学薬学部 | 川田 幸雄 | ○ | ○ |
| 岐阜薬科大学 | 大山 雅義 | ○ | ○ |
| 岐阜薬科大学 | 酒井 英二 | ○ | ○ |
| 静岡県立大学薬学部 | 野口 博司 | ○ | ○ |
| 名古屋市立大学大学院薬学研究科 | 牧野 利明 | ○ | - |
| 名城大学薬学部 | 能勢 充彦 | ○ | - |
| 金城学院大学薬学部 | 永津 明人 | ○ | ○ |
| 愛知学院大学薬学部 | 田邊 宏樹 | ○ | ○ |
| 愛知学院大学薬学部 | 中島 健一 | ○ | - |
| 鈴鹿医療科学大学薬学部 | 岩島 誠 | ○ | ○ |
| 鈴鹿医療科学大学薬学部 | 近藤 俊哉 | ○ | ○ |
| 立命館大学薬学部 | 池谷 幸信 | ○ | - |

| | | | |
|------------------|--------|---|---|
| 京都大学大学院薬学研究科 | 伊藤 美千穂 | ○ | - |
| 京都薬科大学薬学部 | 松田 久司 | ○ | ○ |
| 同志社女子大学薬学部 | 小西 天二 | ○ | ○ |
| 同志社女子大学薬学部 | 中村 憲夫 | ○ | ○ |
| 大阪大学大学院薬学研究科 | 小林 資正 | ○ | ○ |
| 大阪薬科大学薬学部 | 谷口 雅彦 | ○ | - |
| 大阪薬科大学薬学部 | 芝野 真喜雄 | ○ | - |
| 近畿大学薬学部 | 森川 敏生 | ○ | ○ |
| 摂南大学薬学部 | 矢部 武士 | ○ | ○ |
| 大阪大谷大学薬学部 | 上垣内 俊行 | ○ | ○ |
| 神戸薬科大学 | 土反 伸和 | ○ | ○ |
| 神戸薬科大学 | 西山 由美 | ○ | ○ |
| 兵庫医療大学薬学部 | 青木 俊二 | ○ | - |
| 武庫川女子大学薬学部 | 石黒 京子 | ○ | ○ |
| 武庫川女子大学薬学部 | 高 明 | ○ | ○ |
| 姫路獨協大学薬学部 | 中村 隆典 | ○ | - |
| 就実大学薬学部 | 佐々木 寛朗 | ○ | ○ |
| 広島大学大学院医歯薬学総合研究科 | 松浪 勝義 | ○ | ○ |
| 福山大学薬学部 | 大橋 一慶 | ○ | - |
| 広島国際大学薬学部 | 金子 哲夫 | ○ | - |
| 徳島大学薬学部 | 柏田 良樹 | ○ | - |
| 徳島大学薬学部 | 田中 直伸 | ○ | - |
| 徳島文理大学薬学部 | 橋本 敏弘 | ○ | ○ |
| 徳島文理大学香川薬学部 | 代田 修 | ○ | ○ |
| 松山大学薬学部 | 天倉 吉章 | ○ | - |
| 高知県立牧野植物園 | 水上 元 | ○ | ○ |
| 第一薬科大学 | 城戸 克己 | ○ | - |
| 福岡大学薬学部 | 金城 順英 | ○ | ○ |
| 福岡大学薬学部 | 大川 雅史 | ○ | ○ |
| 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 | 田中 隆 | ○ | - |
| 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 | 齋藤 義紀 | ○ | ○ |
| 長崎国際大学薬学部 | 正山 征洋 | - | ○ |
| 長崎国際大学薬学部 | 森永 紀 | ○ | ○ |
| 熊本大学大学院薬学教育部 | 塚本 佐知子 | ○ | ○ |
| 熊本大学大学院薬学教育部 | 矢原 正治 | - | ○ |
| 崇城大学薬学部 | 吉満 斉 | ○ | - |
| 九州保健福祉大学薬学部 | 垣内 信子 | ○ | - |
| 九州保健福祉大学薬学部 | 大塚 功 | ○ | ○ |

参加人数

87名

68名